



平成 25 年 12 月 27 日

主催 徳島大学社会貢献事業（公開事業）  
サイエンスカフェ（科学をとおして総合科学部をみぢかに）

持続可能な社会づくり

## 四国の樹氷・雪中の石炭フライアッシュ ～PM2.5 粒子の意味するもの～

徳島大学総合科学部 教授 今井 昭二

（概要）

2014 年 1 月 26 日（日）14：00～15：30

会場 徳島市シビックセンター4階活動室 3

徳島市元町 1 丁目 2 4 番地・アミコ内（3・4階）

問い合わせ先 シビックセンター 電話 088-626-0408

徳島大学総合科学部 電話 088-656-7673

参加費無料 当日受付 40 名程度まで

呼吸器や循環器における健康リスクが心配される PM2.5 による大気汚染が世間を騒がせています。2013 年冬に西日本を中心に PM2.5 による越境大気汚染が報道されて、徳島でも PM2.5 の濃度が高い日も観測されています。冬期季節風によって運ばれてくる大気汚染物質、とくに硫酸化物や窒素酸化物の他に発癌性が懸念される大気汚染物質の発生源であるとされる石炭燃焼による排気に含まれるフライアッシュが四国で検出されました。冬の樹氷や雪中のフライアッシュについての総合科学部の研究活動をもっと知っていただくための企画です。

プログラム

14：00～14：45 スライド時間

14：00-14:15 冬山研究の方法の紹介

14：15-14：35 四国の樹氷・雪中の大気汚染物質？

（本年の剣山山頂の樹氷の濾過の実演：大気汚染物質は？）

14:35-15:45 雨氷中の大気汚染物質？

14：45～15：30 稀少な稀少現象の雨氷や樹氷のパネル展示

お問い合わせ先

部局名 総合科学部

担当者 今井 昭二

電話番号 088-656-7273

メールアドレス imai@ias.tokushima-u.ac.jp